

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2807	ユトリーム箕面桜ヶ丘		(株)かんでんジョイライフ			H28.12.12		
評価機関	特定非営利活動法人あい・ライフサポートシステムズ					H28.12.12		
<b>評価結果</b>								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	B	B	2.3.6	A	A	6.2.3	B	A
1.1.4	B	B	2.3.7	B	B	6.2.4	A	A
1.2.1	B	A	2.3.8	A	A	6.2.5	B	A
1.2.2	B	B	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	B	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	B	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	B	B
1.3.3	B	A	2.4.2	B	B	6.3.1	B	A
1.4.1	B	A	2.4.3	A	A	6.3.2	B	B
1.4.2	B	A	2.4.4	B	B	6.3.3	A	A
1.4.3	B	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	B	B
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	B	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	B	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	B	A	3.1.6	B	B	7.4.1	A	A
1.5.3	B	A	3.1.7	B	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	B	B	7.4.3	A	A
2.1.2	B	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	B	B
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	B	A	5.1.2	A	A	7.5.5	B	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	B	B
2.2.8	B	A	5.2.2	A	A	7.5.7	B	A
2.2.9	A	B	5.2.3	B	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	B	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	B	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	B	6.1.3	B	B			

## 【評価機関の所見】

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所 見
2-4-3	事故やヒヤリハットを報告書化し、リスク管理委員会を中心に再発防止への取り組みが活発に行われています。軽微な事やヒヤリハットを職員が迷わないよう、事故とヒヤリハットの定義を明確にし周知しています。また事故のレベルを5段階に分類し、何を以て重大とするか等、事故に対する職員意識の向上に努めています。更に、「事故報告書完成までの流れ」や、「報告の手段」を書面に定め、報告書等の書面化する前の口頭による報告を、誰にいつまでにするのかなど、一次対応への遅れが無いよう、かつ対処や対応の完了までが明確になるよう取り組みを行っています。
4-2-2	健康診断と体力測定を年2回実施し、入居者の身体状況を把握した上で、効果的なアクティビティを計画的に実施しています。昨年の体力測定の結果、平均的にバランスが悪かったことから、本年度はバランス体操をアクティビティに頻繁に取り入れ、バランス力の向上を図っています。また、入居者からの要望に応じ、書道や歌などへの取り組みも行っています。アクティビティは曜日ごとにテーマ（月：頭・口、火：腕・肩、水：手・指・足など）を決め、機能訓練とレクリエーションを毎月の「アクティビティカレンダーにして掲示及び配布しています。
5-1-2	アンケートにより、入居者の食事への満足度調査と、具体的な意見や要望を聞きとるようにしています。入居者と委託の厨房職員を交え、試食会を開き、入居者が直接意見を伝える場も作っています。また医師の指示による禁食への対応はもちろんの事、個人毎の食の好みへも、代替食を無料で用意するなどの対応を行っています。入居者が個人で持ち込む佃煮海苔や納豆なども、管理栄養士や医師からの制限がない限りは自由に食べてもらえるようにしています。日常的な残量チェックは厨房で行い、一人ひとりの摂食状態を把握しています。
6-2-1	6ヶ月毎に計画の見直しを行っています。居室担当者によるモニタリングを毎月実施し、状態の変更などがあれば適宜カンファレンスを開催し、計画の見直しを行っています。短期目標に対する支援内容をさらに具体化した、ホーム独自の「パーソナルシート」を作成し、入居者一人ひとりの具体的な支援内容を職員が把握できるようにしています。また、モニタリングに際しても、パーソナルシートの内容に基づいて、目標の到達度合いや、提供すべきサービスの内容が適切であったかの確認を行っています。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所 見
2-4-2	必要な業務マニュアルは整備していますが、必要な都度の見直しに留まっています。マニュアルの内容が実態に即したものであるのかや、不都合がないかなど、定期的に見直しの有無の検討が必要であると思われます。また、各マニュアルの策定期間や改定期間を一覧化するなど、長期間見直されていないマニュアルを意図的に見直しの検討ができるような仕組みを作られてはいかがでしょうか。
6-3-2	法人内での認知症勉強会等への参加をしていますが、現在、平均介護度が（1.9と）低いことから、将来を見据えた際、現在に比べ認知症対応に関する知識や技術は高いレベルが求められてきます。早い段階から認知症専門医や精神科医との協力を行い、研修や事例検討会等から、より専門的な知識や技術を習得できる育成機会を設ける事が望まれます。